特定非営利活動法人自遊の広場　令和８年度事業計画

１　はじめに

A）法人事業全体を通して

定款に掲げられている【この法人は、介護・福祉を通じて誰もが自分らしく「自遊」に生きるため、自然豊かな里山での「日々の暮らし」「ささえあい」「つながり」をサポートします】は、藤野を始め地域の人びととの協働を意識したものである。

人の暮らしは「介護」の世界だけではない。佇まいも含めた文化生活等もそうであり、小規模多機能居宅介護という介護保険サービスは、その意味でやりがいがある。

そして私達は、すずかけの家に始まってやまぼうしの家、畑を伴ったフレイル事業等を進めてきた。

今年度は、介護保険外の事業も整備し、多様な人びととの「つながり」をより多角化し、この地域を更に豊かで味わいのあるものにしていきたい。

多様な活動を展開するためには、法人に、より沢山の個性的な人びとが必要である。世代交代が課題となっている今日。充実したケアを目指し、人びととのつながりをいっそう強めたい。

また、それを支える経営基盤もより強固にしていきたいこの１年である。

ア）すずかけの家

今年度は２０２３年度に策定した中期計画の見直しの時期です。中期計画がどのように達成されたかを検証して次の３年間の計画を立てているところです。

昨年度に実施した職員の個人面談をもとにファシリテーターとして理事の野口正明さんに入っていただき「すずかけらしさ」とは何かを考えると同時に、それを次につなげていく作業をしています。本来「小規模多機能」が持っている柔軟さを活かして自宅で少しでも長く生活できるように「生活をささえる」支援を目指して行きたい。そのためには現在行なっている事業をより充実させて継続していくとともに様々な地域の資源とつながり、広がりのあるケアを考えたい思っています。

特に今年度は長年の課題であった常勤職員の固定給の実現を始めとして働きやすい職場環境を整備していきたいと考えています。

イ）やまぼうしの家

やまぼうしの家も６年目に入りました。現在３名の入居者の方がいますが入居当時より高齢になり当然の事ですが身体状況や認知症状にも変化があります。シェアハウスという形態で「いつまでここで生活していけるか」が課題になっています。また空き室の活用の仕方や職員体制など問題は山積みです。やまぼうしの家検討会議のなかで考えていきたいと思います。

ウ）農園、訪問庭づくりを主にしたフレイル事業：ハート de グリーンサポート

【事業目的】

「ハート de グリーンサポート」は、農園活動を通じて地域住民の交流を生み出し、自然と関わる中で生きがいや役割を感じられる場づくりを行うことで、フレイル予防を目的とした事業です。

2026 年度は、これまで整備してきたコミュニティガーデンをさらに発展させ、誰もが安心して過ごせる居場所づくりを進めていきます。

【2026 年度 重点取り組み】

◎コミュニティガーデンプロジェクト

・月 1 回の定例作業を継続し、野菜や花の栽培管理、収穫、草刈り等を行う。

・参加者が役割を持ちながら関われる活動とし、継続的な交流の場を維持する。

◎共同整備による環境改善（年 2 回）

・手すりの設置など、安全性を高める環境整備を行う。

・低花木の植栽を進め、景観と居心地の向上を図る。

・フォーカルポイント（見どころ）を設ける。

・作業後に交流の機会を設ける。

◎びんたぼ農園の活用

・高齢者の外出・交流・フレイル予防の場として活用。

・体力に応じた関わり方ができる環境づくり。

◎園芸ワークショップ

・6 月 苔玉づくりワークショップ

・秋季　ガーデンづくりワークショップ（４回）

◎出張グリーンサポート

・すずかけの家利用者への庭・植物の手入れ支援（保険外サービス）

◎ふれあい事業

・すずかけの庭、プラタナスガーデンを活用し動物とのふれあいスペースを検討

・動物とのふれあいによる交流と心の安定支援

◎多世代交流

・保育園や地域住民との交流促進

◎運営体制

・人員確保と持続可能な運営

【目指す成果】

・フレイル予防と外出機会の増加

・多世代交流の促進

・居心地の良いガーデン環境整備

・動物とのふれあいによる新しい価値創出

・持続可能な運営

エ）お楽しみ講座「じじばば自由大学」の運営

ここ2年ほど開催し好評だった「親子講座」を今年度も企画したい。また、地域の人を講師に迎えてのじじばば自由大学も随時開催する。介護・医療に関連するテーマの映画上映等も検討したい。

オ）その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

◎イベント事業

これまで同様に、地域との繋がりを意識したイベントを大事にしていく。
地域との交流を図り、団体の活動を広めるため、主催イベントを開催する（落語会等）。
また、地域イベントに積極的に参加する（しのばらグリーンデイズ、ぐるっとお散歩篠原展等）。
合わせて、サポーター会員等の協力者（個人、団体）がすずかけの家やコミュニティガーデン等を活用したイベントを開催できるようにする。

◎サポーター会員制度

別紙

◎ボランティア

法人の活動に賛同して関わってくれる人を増やすためボランティアの発掘に力を入れていく。ガーデン、イベント、広報など、得意なこと・好きなことを生かして楽しみながら参加してもらう中で、法人のミッションの達成、会員数の増加など裾野が広がっていくことを目指す。
そのための活動としてボランティアの受け入れ窓口をつくる。

◎中期計画の策定と実施

第2期中期計画（2026年度～2028年度）を策定し、実施する。策定にあたっては、理事・監事・職員が参加し、事務局がまとめる。1年目終了時モニタリングを行い、適宜軌道修正する。
＜重点課題＞
1．資金の調達
2．「すずかけらしさ」の継承

1．資金の調達
活動の柱（3年後の指標）
① すずかけの家が居心地のよい空間になっている
② すずかけの魅力が発信できている
③ すずかけの家
　1　すずかけの家の利用者20人をキープできている
　2　よいケアチームができている
④ やまぼうしの家に関する活動
⑤ 新たな収入源に関する活動

1年目の活動
① 目標　空間がすっきりしている
　活動　空間の使い方を見直す
　　整理整頓する、
　　古い家具を磨く（きれいにする）
　　蔵の活用を検討する

② 目標　「すずかけらしさ」が明確になっている、会の魅力がはっきりしている
　活動　「すずかけらしさ」を明文化する
③ 目標　職員の働き方が効率的になっている
　活動　職員のスキルアップをする
　　職員の適正な配置をする
　　職員一人一人からの聞き取りをする（気づきシート）
　目標　常勤職員の労働条件が改善している
　活動　常勤職員の労働条件を改善する
　　介護記録と請求を連携する
④ 目標　やまぼうしの家の今後について見通しができている
　活動　やまぼうしの家のあり方、今後について検討する
　　（やまぼうしの家検討会議　事務局＋職員より募集）
⑤ 目標　保険外サービスの検討ができている
　活動　新たな収入源として、保険外サービスの検討をする

2.「すずかけらしさ」の継承
活動の柱（3年後の指標）
① ボランティアとして関わる会員が増えている
② コミュニティガーデンプロジェクトに会員が自発的に参加して活動している
③ 新しい理事長がいる
④ すずかけの家の新しい管理者がいる
⑤ 職員一人ひとりが主体的に活動に参加している

① 目標　活動に参加するボランティアが増えている
　活動　ボランティア受け入れ窓口をつくる
　　ボランティアの呼びかけをする
② 目標　コミュニティガーデンに参加するボランティアが増えている
　活動　庭づくりワークショップを開催する
③ 活動　新しい理事（理事長）を探す
④ 活動　すずかけの家の新しい管理者を探す
⑤ 活動　的確・迅速に意思決定できる組織をつくる
　　会議の持ち方を検討する
　　判断することについて職員会議で話し合う

オ）その他の事業　別紙

サポーター会員制度

1. 目的

サポーター会員制度は、NPO 自遊の広場の活動に共感し、地域の中でゆるやかにつながりながら、ともに支え合う仲間を広げていくことを目的としています。
2026 年度は、これまでの「応援する関係」からもう少し一歩進み、会員のみなさんがそれぞれのペースで関わりながら、「つながりの中で安心して暮らせる地域」をともにつくっていけるような関係づくりを目指します。

2. 基本方針

2-1 会員制度の魅力を分かりやすく伝える

法人の活動や思いを整理しながら、サポーター会員になることでどのようなつながりや楽しさが生まれるのかを、より分かりやすく発信していきます。
「つながりの中で安心できる地域をともにつくる」という思いを大切にしながら、会員制度の魅力や意義を丁寧に伝えていきます。

2-2 会員数の拡充

パンフレットや SNS、イベントなどを通じて活動を知ってもらう機会を増やし、新たな会員との出会いにつなげていきます。
また、既存会員とのつながりも大切にしながら、ボランティア活動、自然な口コミや紹介によって輪が広がっていくことを目指します。

2-3 会員からボランティアへの参加促進

サポーター会員のみなさんが、自分に合った形で活動に関われるよう、ボランティア参加のきっかけづくりを進めます。
「少し関わってみたい」という気持ちを大切にしながら、無理なく参加できる関係づくりを目指します。

2-4 会員主体の活動の推進

コミュニティガーデン「びんたぼ」をはじめとした活動を通じて、会員同士や地域とのつながりが自然に育まれる場づくりを進めます。
会員が主体的に関わりながら、ともに活動を育てていく流れを大切にしていきます。

2-5 人材の発掘と今後の展開

今後の活動につながる人材との出会いや関係づくりを進めます。
新たなボランティア発掘などの取り組みから、関心を持つ人や一緒に関われる仲間を少しずつ見つけていきたいと考えています。
また、会員年度の区切りを 3 月までと改訂し、2025 年度の会期は 2025 年 10 月から 2027 年 3 月までとします。そのため 2026 年 10 月の会員更新の呼びかけは行いません。

3. 大切にしたいこと

・会員制度の意味や魅力を分かりやすく伝えること
・無理なく関われる入口を増やしていくこと
・活動を通じて人と人とのつながりを育てていくこと